

大久保医院新聞

令和3年(2021年)7月8日発行(第159号)

発行所:大久保医院 (TEL:045-788-6565)

日本小児科学会認定専門医、日本糖尿病学会認定専門医

所在地:横浜市金沢区六浦南2丁目42番18号

<https://clinic-ookubo.com>

当院を「かかりつけ医」とする方のコロナワクチン接種

1) 当院のコロナワクチン接種の考え方:

既に、新聞、テレビ等で情報が提供されているように、新型コロナワクチンは、接種後の副反応の発生頻度が高く、アナフィラキシーショックの発生も、インフルエンザワクチンの10倍との報告もあります。

当院は、医療スタッフが少なく、アナフィラキシーショックの発生時に十分な対応ができないと考え、高齢者の個人接種をせず、マンパワーの十分な集団接種会場での接種を推奨してきました。

しかしながら、5月～6月の高齢者の方の集団接種会場での予約は、きわめて困難をきわめて、最終的には当院を「かかりつけ医」としている高齢者が、近隣の個人医院での接種予約となるに至りました。

この現況判断から、本年7月より開始される高齢施設従事者、基礎疾患を有するもの、保育園施設従事者で、当院を「かかりつけ医」としている方の接種のためには、当院も個別接種をすることが望ましいと判断しました。

2) コロナワクチンの個別接種の開始:

そこで、6月に入り、個別接種を開始する手続きを開始しました。横浜市健康福祉局に、新規登録を申請し、6月25日にその決定通知を受けました。この決定により、7月12日の週にコロナワクチンが納入され、当院でも7月20日より個別接種が可能となりました。

個別接種の準備が整いましたので、以下の内容を院内に掲示し、あわせてホームページに掲載しました。



コロナワクチンの個別接種の開始

1) 令和3年7月20日より接種券が有る当院を「かかりつけ医」としている方を優先として、**優先順位に従い個別接種**を行います。

2) **優先1位**は、高齢者、**優先2位**は医療従事者、**優先3位**は、従事者証明書を所持している高齢者施設等の従事者、**優先4位**は、基礎疾患(糖尿病、高血圧、慢性の呼吸疾患・心臓病など)がある方、**優先5位**は、保育関連施設の従事者の方です。

3) ワクチンに余裕が生じた際は、接種券を有する**一般の方も**受け付けます。

ワクチンは1瓶(バイアル)で6人分です。丁度6人が集まらないと余剰が発生します。一般の方はこの余剰分の待機となります。余剰分の待機でよろしければ、カルテ作成及び接種日を調整するための問診日を予約してください。問診後、接種日を決定します。(問診日の診察は無料です)

5) ワクチンの接種曜日は、火曜日・金曜日の午後(2時半～3時半)を原則とします。

不織布マスクを使おう

コロナウイルスに対する基本的な対策は、①三密(密閉、密接、密集)を避けること、②適当な距離を保つこと(フィジカル・デスタンス)、③マスクの着用です。

マスクの着用は、飛沫の排出を抑え、ウイルスを有するエアロゾル(飛沫と飛沫核)の吸入を抑えることにあります。

現在一般の人が使用しているマスクは、不織布マスクと布・ガーゼマスク、ウレタンマスクの3種類です。皆さんはどのマスクを使用していますか。

マスクに関して、先日私が購入した書籍:「新型コロナの大誤解」(西村秀一医師著)((幻冬舎)に大変興味深い記述がありました。

この本に、マスク素材別の吸い込みによる実験での粒子除去性能の比較図が乗っています。それによりますと、不織布マスクは、一番小さい $0.3\sim 0.5\mu\text{m}$ の粒子を90%除去しますが、ウレタンマスクは、0.9%しか除去できない結果でした。最大 $5.0\mu\text{m}$ の粒子では、不織布マスク99%の除去性能ですが、ウレタンマスクは、8%の除去性能でした。N95や医療用サージカルマスクはそれ以上に高い値ですが、一般の方が生活圏で使うのは、この程度の不織布マスクで十分機能し、ウレタンマスクの効果はゼロと著者は指摘していました。

この本には、①フェイスシールド・マウスシールドではなにも防げないし、飛沫粒子がすき間から入りエアロゾルが停滞してかえって危険、②外を歩く時にはマスクはいらぬ、③ビニールカーテンやパーティションは、換気を損ない危険なことが多々ある、など今までの知識を覆す記述が多数ありました。

この本を読んで今まで広く知られてきた上記①～③を含めて多くの知識が否定されびっくりしました。今後この本の内容が広く検証され、科学的に正しい知識に統一されることを願っています。



編集後記

東京オリンピックの開催まで、2週間となりましたが、新型コロナウイルス感染症は、収まっていません。近いうちに東京圏では、第5波が予想されています。この状態で、東京オリンピックは安全に運営されるのでしょうか。出場する選手達の安全と、コロナのさらなる流行を抑えられることを祈ります。同時に今後のオリンピックのあり方を検討する機会になることを祈ります。

当院はユニセフ活動に協力しています。皆様より頂いた令和3年5月16日より令和3年6月30日までの募金590円をユニセフ協会に送金しました。新聞をお持ちになる方はコピー代として募金活動にご協力下さい。